

保護者様

川崎市立川中島小学校

校長 堀江 広志

川中島コミュニティ学校運営協議会会長 清水 仁子

学校評価アンケート結果について

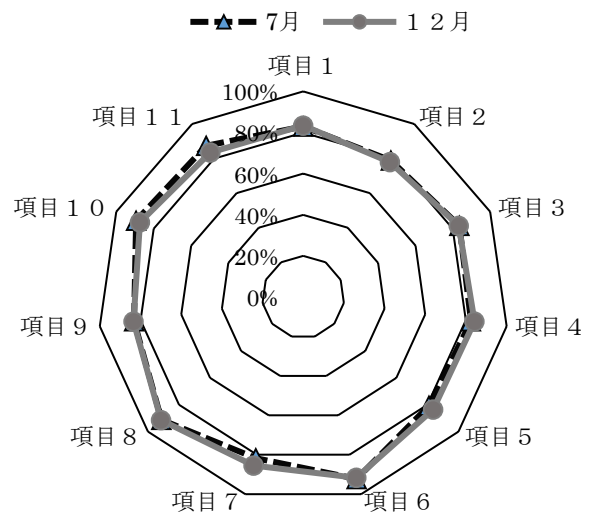
寒さ厳しい中にも、光に輝きを感じる季節となりました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝いたします。さて、今年度学校評価アンケートを7月と12月の2回実施させていただきました。今後も、アンケートの結果を真摯に受け止め、川中島コミュニティ学校運営協議会一同、益々の努力・改善を重ね「子どもが主役」の学校づくりに励んでまいります。今後ともご支援とご協力の程よろしく願います。

%は、⑤「とてもよい」・④「よい」の合計の値です。

児童アンケート () 内数字 (7月アンケート数値→12月アンケート数値)

- 項目1 学習や当番、委員会活動等で、自分の力を発揮していますか。(83%→83%)
- 項目2 学校で困ったことや心配なことはありますか。(79%→78%)
- 項目3 学校の読み聞かせや読書の時間が好きですか。(84%→83%)
- 項目4 自分から進んで挨拶をしていますか。(82%→84%)
- 項目5 なかよし班で他学年の友達とも楽しく、充実した活動をしていますか。(81%→84%)
- 項目6 学校でも交通安全の学習をしていますが、悪いているとき自転車に乗っているとき交通ルールを守っていますか。(92%→92%)
- 項目7 川中島小学校では、先生のほかに地域の人が学習や学校生活のサポートをしていることを知っていますか。(82%→85%)
- 項目8 進んで学校をきれいにしていますか。(91%→92%)
- 項目9 クラスみんなで考える学習やグループでの学習など、いろいろな学習方法がありますが、勉強は楽しいですか。(83%→83%)
- 項目10 授業の中で「できた」「わかった」と思うことはありますか。(89%→87%)
- 項目11 学習にGIGA端末を活かしていますか。(87%→83%)

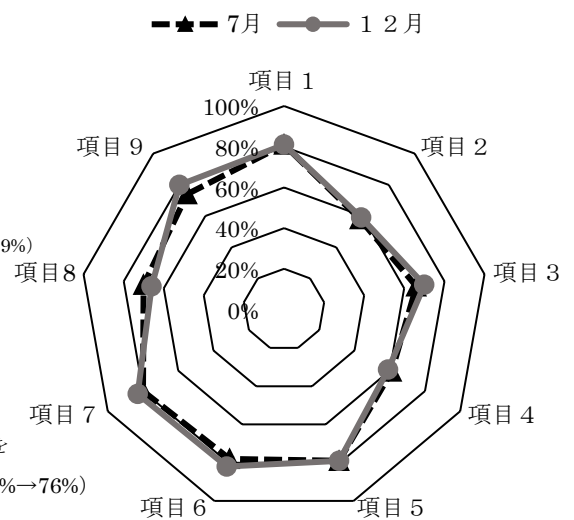
児童アンケート結果



保護者アンケート

- 項目1 お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思いますか。(81%→81%)
- 項目2 お子さんは学校で困ったことや心配なことがありますか。(58%→59%)
- 項目3 お子さんは学校の読み聞かせや読書の時間が好きだと思いませんか。(66%→70%)
- 項目4 お子さんは、自分から進んで挨拶ができていますか。(61%→59%)
- 項目5 お子さんは、他学年の児童とも楽しく充実した活動をしていると思いますか。(79%→79%)
- 項目6 学校では交通安全の学習をしていますが、お子さんは、道路を歩いているときや自転車に乗っているときに交通ルールを守っていますか。(78%→82%)
- 項目7 地域の人が学習や学校生活のサポートをしていることを知っていますか。(80%→83%)
- 項目8 学方向上のために、学習の形態(グループ活動、交流タイム、少人数学習など)を工夫していますが、お子さんが学習した内容が身につけていると思いますか。(74%→76%)
- 項目9 お子さんは学習にGIGA端末を活かしていますか。(70%→66%)

保護者アンケート結果



項目1 子どもの自己肯定感を高める

7月→12月

(児童アンケート) 学習や当番、委員会活動等で、自分の力を発揮していますか。(83%→83%)

(保護者アンケート) お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思いますか。(81%→81%)

自己評価 児童・保護者ともに良い評価が8割以上をしめ、自分の力を発揮し、自信をもって生活を送っていることが分かります。昨年度に引き続きコロナ禍の中、行えない活動や行事もありましたが、その中でも子ども一人ひとりが活躍の場を見つけ成長できたことをうれしく思います。これからも子どもの安全を確保しながら、活動の場を広げていくことができるように努めていきます。

学校関係者評価 長期間のコロナ禍における学校生活を続けることによって、子どもたちの気持ちに影響が出ていないか心配です。幸い、アンケートからは、今までとあまり変わらない様子がうかがえました。制限のある中でも学校教育活動を工夫されている教職員のおかげだと思いました。しかしながら、学校での様子が保護者に見えにくくなってきているので、より効果的に情報発信することにより、保護者への安心につなげることも必要だと感じました。

項目2 特別支援の推進(子ども一人ひとりへの配慮)

(児童アンケート) 学校で困ったことや心配なことはありますか。※ない・あまりない(79%→78%)

(保護者アンケート) お子さんは、学校で困ったことや心配なことがありますか。※ない・あまりない(58%→59%)

自己評価 学校で困ったことや心配なことが「ある・少しある」と回答した児童が、全体の約6~7%でした。保護者アンケートでは「ある・少しある」の回答が約6~8%でした。理由として、クラスの友だちのことに対する悩みや不安、学習に対する不安が多くを占めました。学校では、友だちのことだけでなく、学習を含め、一人一人の不安や悩みに対して、担任をはじめ、学年の先生、児童支援コーディネーター、養護教諭等、いつでも誰にでも相談しやすい環境を作っています。そして、連絡を取り合い、外部機関ともつながりながらチームで対応していきます。これからも学校、保護者との連携を大切に、子どもたちを支援していきます。

学校関係者評価 自己評価にもあるように、学校では子どもたちの困ったことや心配なことに対して相談しやすい環境作りに努めています。子どもたちの困り感は様々ですが、些細なことに対してであっても、子どもが困っていると感じるときには学校と家庭がつながり、早期に対応することが大切だと思っています。

項目3 図書活動の推進

(児童アンケート) 学校の読み聞かせや読書の時間が好きですか。(84%→83%)

(保護者アンケート) お子さんは学校の読み聞かせや読書の時間が好きだと思いますか。(66%→70%)

自己評価 児童のアンケートからは、読書が好きな子が多いということが読み取れます。理由としては、季節の装飾や4年生以上の辞書引き大会で児童が図書室に入りやすくなっていることや、定期的に読み聞かせを行って頂いていることで、本を身近に感じることができているからだと思います。保護者の方にもそういった活動が伝わったことで12月の評価が伸びたのではないかと思います。引き続き本の楽しさを伝え、興味・関心が薄い児童への声かけ等を行っていき、さらなる読書推進に努めていきたいと考えています。

学校関係者評価 コロナ禍において中休みの図書室の利用も制限されており、好きな時に好きな本を手にとることができにくくなっています。そのような中でも先生方には朝の読書タイムや授業での積極的な図書室の利用などで本に親しむ時間を作っていただけていると思います。

項目4 進んで挨拶する子どもたち

(児童アンケート) 自分から進んで挨拶をしていますか。(82%→84%)

(保護者アンケート) お子さんは、自分から進んで挨拶ができていますか。(61%→59%)

自己評価 児童のおよそ8割は、自分から挨拶ができています。ただ、保護者アンケートでは、しっかり挨拶ができていますと回答された方が、児童アンケートの結果よりも下回っています。児童アンケートと保護者アンケートの両方で「知っている人にはできる。」との記述が見られました。地域の大人が「知っている人」になるように、大人からも積極的に挨拶をすることが大切だと感じました。

学校関係者評価 ほとんどの児童が挨拶をしていますが、マスクをしているせいか、声が小さく元気のないように感じられます。例年、挨拶運動として行ってきた「ニコおは隊」がコロナ禍で行えず、少なからず影響しているかもしれません。家庭でも保護者から「おはよう。」と声をかけていただくことが大事だと思いました。

項目5 異学年交流・なかよし班活動

(児童アンケート) なかよし班で他学年の友達とも楽しく、充実した活動をしていますか。(81%→84%)

(保護者アンケート) お子さんは、他学年の児童とも楽しく充実した活動をしていますか。(79%→79%)

自己評価 なかよし班活動では、全学年をそれぞれ組み合わせ合わせて小さなグループを作って活動しています。なかよし班が同じというきっかけから仲良くなり、交友関係が広がっているように感じます。かわりの中で、高学年は低学年の手本として、低学年は高学年の活動の仕方を見て、お互いがいい刺激を受け新たな学びを得ているようにも感じられます。

学校関係者評価 低学年からは、高学年への感謝の言葉が多く聞かれます。高学年はやりがいを感じたり、自身の成長に気づく場面もあるようです。コロナ禍では配慮することが多い活動だと思われませんが、先生方の指導に感謝したいと思います。

項目6 事件・事故に対応する活動

(児童アンケート) 学校でも交通安全の学習をしていますか、歩いている時自転車に乗っている時、交通ルールを守っていますか。(92%→92%)

(保護者アンケート) 学校では交通安全の学習をしていますか、お子さんは、道路を歩いているときや自転車に乗っているときに交通ルールを守っていますか。(78%→82%)

自己評価 日頃の学級指導や長期休業前の全児童に向けての指導を通して子ども達が安全に生活できるよう取り組みを行っています。また、1年生と3年生においては、毎年交通安全教室に特別講師を招いて開催しています。その結果、アンケートでは「交通ルールを守っている」と答えた児童が92%と非常に高い評価でした。一方で、保護者アンケートでは、心配な声も多く寄せられています。視野の狭い子どもたちは気を付けているつもりでも、大人の目から見ると注意が足りない状況が多くあるようです。そこで引き続き、見守り活動のボランティアを募集して配置し、事故防止に努めてまいります。また、朝の会や帰りの会等を活用し、常に交通安全についての呼びかけ・指導を行っています。

学校関係者評価 登下校はボランティアや町内会などの見守りもあり、おおむね安全に歩行が出来ているようです。ただ放課後など、学年が上がるにつれ、車道を自転車で話しながら並走したり、ブレイブボードなどでの危険な走行も見られます。このようなことは大きな事故にもなりかねませんので、今一度ご指導をお願いしたいです。

項目7 コミュニティスクール

(児童アンケート) 川中島小学校では先生のほかに地域の人が学習や学校生活のサポートをしていることを知っていますか。

(82%→85%)

(保護者アンケート) 地域の人が学習や、学校生活のサポートをしていることを知っていますか。(80%→83%)

自己評価 今年度も、1年生の集団下校の付き添いや2年生のまち探検の見守り、九九検定(今年度はコロナのため実施時期は未定)など、各学年がさまざまな場面で地域の方々のサポートを受けながら、学びを進めています。校内でのコミュニケーションがきっかけとなり、町の中で地域の方との関わりの基盤となっています。コミュニティスクールの活動の様子や取り組みについては、引き続きホームページなどで発信していますので、ご理解とご協力をいただけたらと思います。

学校関係者評価 今回のアンケート結果を踏まえ、沢山の方々にご理解いただけているように感じ有り難しく思っております。コロナ禍の中、協力出来る活動が延期になることもあり残念ですが、今後も新しい支援活動が出来るよう協力させていただきます。

項目8 環境の整備

(児童アンケート) 進んで学校をきれいにしていますか。(91%→92%)

自己評価 アンケート結果より、90%以上の子どもたちが掃除に対して好ましい思いをもっていることがわかりました。また児童からは「掃除をすると気持ちがいい。」「掃除をすると、みんなに喜んでもらえる。」という感想が出ており、その気持ちを大切にしながら進んで学校(自分の場所・みんなが使う場所)をきれいにすることを意識させていきたいと思っております。

学校関係者評価 今年度のアンケートで2回とも90%以上と子どもたちの結果がとても高い評価になっています。どうして綺麗にするのか、綺麗になったらどうなるのか、子ども一人一人がしっかりと意識をして清掃活動が出来ているようです。

項目9 きめ細やかな学習 学習形態の工夫

(児童アンケート) クラスみんなで考える学習やグループでの学習などいろいろな学習方法がありますが、勉強は楽しいですか。(83%→83%)

(保護者アンケート) 学力向上のために、学習の形態(グループ活動、交流タイム、少人数学習など)を工夫していますが、お子さんが学習した内容が身につけていると思えますか。(74%→76%)

自己評価 各学年で学習の内容に合わせて、全体で交流活動を行ったり、ペアやグループで話し合ったり、課題を解決したりする学習を取り入れてきました。また、3年生からの算数少人数では児童・保護者ともわかりやすいとの意見があり成果を感じます。各学年とも年間カリキュラムの中に外部講師の方に携わっていただく学習を取り入れています。コロナ禍でも可能な限り外部講師の方と学習する機会を設けることができるように取り組んできました。今後もできる限り機会を作っていく、子ども達の教育活動の充実を図っていききたいと思います。

学校関係者評価 授業中、手を挙げて発言出来ない子も、ペアやグループでは友達と話す感じなので、自分の意見を発言出来たり、その意見に対して、すぐに反応があったり、子どもたちにとってプラスの学習方法だと思います。他にも色々な学習形態がありますが、これからは子どもたち一人一人の個性を伸ばすために、色々と学習の工夫をしていってほしいと思えます。

項目10 学力向上の取り組み

(児童アンケート) 授業の中で「できた」「わかった」と思うことはありますか。(89%→87%)

自己評価 約9割の児童が学習の中で「できた。わかった。」という達成感を感じていることがわかります。項目9のきめ細やかな学習や学習形態の工夫を意識して行っていることも成果につながっていると思います。一人一人の実態を把握し、さらに多くの児童が「できた。わかった。」と感じる経験が積めるようにしていきたいと思います。今後も子どもの確かな学力の向上につながるよう努力をしていきます。

学校関係者評価 多くの子どもたちが、達成感を感じていることは嬉しいことですが、達成感を感じていない子もいます。一つ何かが分らないと、次の学習が分らなくなってしまう。例えば、かけ算が出来ない子は、わり算は出来ません。毎年(2月頃)コミュニティ委員がお手伝いしている、2年生の九九検定が、感染拡大のため行えていません。コロナ禍のため、子どもたちの「できた。」が聞ける場を失うことは悲しいことです。子どもたちの「できた。」を増やすために、お忙しいとは思いますが、ご家庭でも九九を聞いてあげてください。2年生だけではなく、3～6年生も「うちの子、ちゃんと言えるのかな?」と思ったら、是非とも聞いてあげてください。

項目11 GIGA端末への取り組み

(児童アンケート) 学習にGIGA端末を活かしていますか。(87%→83%)

(保護者アンケート) お子さんは学習にGIGA端末を活かしていると思いますか。(70%→66%)

自己評価 今年度よりGIGA端末が導入されました。活用方法等についてもまだまだ発展途上ではありますが、調べ学習や発表等それぞれの学年の実態に合わせて活用してきました。子どもたちからは、授業が分かりやすくなり調べるときに便利、また保護者からは、新しい知識や技能を吸収し学習の幅が広がっているように思うといった声が寄せられました。子どもたちも保護者もおおむね活用できていると感じていることがわかります。なお、子どもたちによる後期の評価が下がったのは、GIGA端末の点検により使用できない期間が長くありました。その影響があったものと考えられます。今後も、活用方法を検証しながらより良い活用に取り組んでまいります。

学校関係者評価 「GIGA端末の授業が楽しい。」「授業が分かりやすくなった。」など、学習意欲を促進する効果が指摘されており、端末自体の特性に加えて先生方の取り組みの成果も表れているものと思われます。一方、遊びに使ってしまったり、ローマ字入力に苦労している子もいたり、端末特有のマイナス面も挙げられています。そういった子どもたちへのフォローの仕組みも含めて引き続き活用方法のブラッシュアップをお願いいたします。